

歴史がある 光琳寺

No.14



光琳寺は1467年の蓮如上人が北国に浄土真宗の普及目的に御徑廻された頃に光琳寺という名前をいただいたのが始まりです。1500年頃、今の本堂より後方の山中に御堂が建てられました。1835年に、門戸の総力を結集して現在地に建立され、約180年間村の人たちで大切に管理されています。御堂御中には「高山光琳寺縁起」として額が上げられています。

現在は住職がいませんが、村の人たちの交流の場としても利用されています。また一ヶ月ごとに、一度ある集会ではおいしいうちまめ汁が振舞われます。

選んだ理由

僕が光琳寺を選んだ理由は、金居原では一番大きなお寺で、昔は学習の場として利用され、歴史が古く村の人が今でもとても光琳寺を大事にしておられます。光琳寺がいつまでも大切に残ってほしいと感じたからです。